



市長インタビュー

子どもたちが健やかに育つことができるまちへ

●「とろろっこ・すくすくサポートプラン」とはどのような計画ですか。

斎藤市長 核家族化や少子化が進行する中で、家庭や地域でのコミュニケーション不足などが原因となって虐待や犯罪という、子どもたちへのさまざまな問題が起きています。子育てをされている皆さんの中には、負担や不安を抱えている方も少なくないと思います。

この計画は、子どもたちが成長していくうえでの家族や地域のあり方を見直して、子育てにかかる負担や不安の軽減を図ろうとするものです。また、子どもたちがこのまちに愛着を感じながら、健やかに成長していけるよう応援するための目標や具体的な方向性を示しています。

●特に重点を置いている取り組みをお聞かせください。

市長 市ではこれまでも、子どもたちや子育て中の皆さんを対象にしたさまざまな取り組みを行ってきました。

今後、これらの子育てに関する情報を、子ども支援課において統括・管理し、適切な窓口や施設などへの案内を円滑に行うとともに、ホームページや冊子を通して積極的にお知らせしていきます。

また、子どもたちが安全に安心して暮らすことは、なによりも大切なことです。虐待や犯罪被害から子どもたちを守るため、関係機関の連携はもちろん、地域全体で見守り、支えあい、協力しあえる体制を充実していきます。

市の宝である子どもたちが、のびのびと成長できるホームタウンであり続けるために、この計画の推進に取り組んでいきます。これからも、皆さんの変わらぬご理解とご協力をお願いします。

とろろっこ・すくすく サポートプランを策定しました

所沢市次世代育成支援行動計画



▲冊子「とろろっこ・すくすくサポートプラン」と概要版



子どもたちや子育て家庭を取り巻く状況は、大きな変化を見せており、子育てに対する不安やストレスなどが原因となつてさまざまな問題が起きています。こうした中、子どもたちが安全に安心して暮らし、心身ともに健やかに成長できる「家庭づくり・地域づくり・環境づくり」が強く求められています。市では、子どもたちが健やかに成長していけるまちづくりを進めるため、所沢市次世代育成支援行動計画「とろろっこ・すくすくサポートプラン」を策定しました。今回は、この計画に基づく取り組みをお知らせします。お問い合わせ 子ども支援課(☎20908-9124・FAX2908-6005)

みんなの宝「子どもたち」を健やかに育てるために

計画の趣旨

所沢市次世代育成支援行動計画は、子どもたち自身が、このまちとともに在ることを感じながら、家庭や地域の中で安心して生活し、社会へ踏み出していけるよう応援するためのアクションプラン(行動計画)です。

「子どもたちが幸せに暮らし、心身ともに健やかに育っていくために必要なことは何か」という視点に立って、福祉・教育・環境・交通・防犯などさまざまな分野での取り組みを進めます。子どもたちが、所沢を自分のホームタウンとして愛し、健やかに成長するようにとの願いを込めて「とろろっこ・すくすくサポートプラン」と名付けました。

3つの基本目標

この計画は、3つの基本目標(主な柱は下表のとおり)に基づく取り組みを行います。子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします。乳幼児の健全育成、子どもたちの悩みや不安に対する専門的なサポート、健全な家庭づくり、地域の体制づくりなどに取り組み、子どもたちが社会へはばたくためのたくましさや身に付けられる機会を、充実させていきます。子どもたちが心豊かに育つためのゆとりある暮らしを支えます。精神的・経済的なゆとりを持つて子育てをしていけるように、より

り分りやすい子育て支援情報を提供します。また、保育事業や放課後の子どもたちの居場所づくりなど、子育てと仕事の両立の推進や、地域に根づいた子育て支援サービス、経済的支援の充実に取り組みます。子どもたちが安心して健やかに暮らすための環境をつくりやすに子どもたちが、虐待や事件・事故、災害など、何ものにも脅かされることなく、安全に安心して暮らせるよう、子どもたちの人権を守るための活動や、交通安全対策、子育てバリアフリーの実現、防犯・防災に向けた環境整備などに取り組みます。

重点的に取り組む施策

基本目標に基づいた取り組みの中でも、より重要度が高い、あるいは緊急性を要する課題として、次の4点について重点的に取り組めます。①子育て情報の共有化と情報提供の子育てをしている親たちが必要としている情報を、積極的に提供していきます。

これまで個別に発信されてきた子育て支援の情報を網羅したホームページや情報冊子を作成して、情報をより分かりやすく、より入手しやすい方法で提供します。また、手続き窓口での対応の一層の充実を図ります。②大学の協力による専門的対応の充実

高等教育機関である大学の協力によって、専門的な知識を事業運営に活用します。教授やアドバイザーや学生の学習支援員としての登用などを通して、よりきめ細かい専門的対応を充実します。③保育待機児童への対策

3つの基本目標

【基本目標Ⅰ】 子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします
①子どもたちの知識・能力の育成
②ホームタウンとしての家庭・地域づくり

【基本目標Ⅱ】 子どもたちが心豊かに育つためのゆとりある暮らしを支えます
①すべての子育て家庭への支援
②仕事と子育ての両立の推進

【基本目標Ⅲ】 子どもたちが安心して健やかに暮らすための環境をつくります
①子どもたちの人権と権利の保護
②子育てに快適な環境づくり

子育てにゆとりが持てる社会に

小林豊明さん (けやき台在住)

我が家は夫婦共稼ぎなので、小学2年生の息子は児童クラブに、1歳の娘は保育園にお世話になっています。残業が続くときは、帰宅しても子どもたちはすでに寝ていて話もできません。寝顔を見るだけでは「子育て」とは言えませんね。このプランでは、父母が子育てに参加しやすい職場環境・制度の整備を盛り込んでいます。子育ての時期は限られています。仕事をしながら子育ての時間を持つ社会となることを期待しています。

心豊かなとろろっこに

中川千波さん (松が丘在住)

私は児童館でお話の手伝いをしています。お話に聴き入る子どもたちは目を輝かせ、とても印象的です。私も幼児と小・中学生の母親ですが、子どもは、親とのコミュニケーションによって育っていくものと感じています。豊かな心で育てるには、家庭をはじめ地域での子どもたちとのかわりが、なにより大切だと思います。この計画が進み、地域や学校で目を輝かせた「とろろっこ」たちに出会えることを楽しみにしています。

計画の推進体制

この計画をより実効性のあるものとするため、次の取り組みを行います。

●「所沢市次世代育成支援地域協議会」の設置

計画の進み具合を把握・点検する機関として、市民の代表、学識経験者、関係機関等からなる協議会を設置します。

平成21年度までに達成する事業の目標を設定して、進捗状況の把握・点検を行うとともに、子育て支援に関わる問題提起・提案を行います。

▼「主な事業の目標」

「ほうかこころ」(小学校の施設を活用し、放課後の遊び・学習等のお手伝いをする事業)

実施小学校数：2校↓5校
 ▼公園面積：63・88ha↓94・28ha
 ▼学校版I・S・O推進事業：全小・中学校での実施を継続
 ▼ファミリーサポートセンター登録会員数：1,083人↓1,800人
 ▼保育園通常保育定員数：3,999人↓4,089人
 ▼放課後児童クラブ利用人数：1,659人↓1,840人
 ▼交通安全教室開催回数：59回↓108回
 ▼ノンステップ導入率：29%↓50%

●関係機関との連携強化
自治会や子育て支援に関わる市民組織、児童相談所、医療機関、保健所、教育機関、警察等との連携を強化し、児童虐待防止や子どもたちの健全育成に取り組みます。

●情報の公開・提供を充実
ホームページや広報紙等で、この計画に基づいた制度や事業を積極的に公表していきます。

なお、本号「1ページ」から「すくすくサポート通信」として、子育てに関する有益な情報提供コーナーを連載します。

◎「とろろっこ・すくすくサポートプラン」は、市役所1階・市政情報センターで閲覧できます。また、市ホームページ(アドレスは表紙参照)でもご覧いただけます。

子どもたちが健やかに育っていくためには、家庭も地域も子どもたちとともに生き、ともに育っていくことが大切です。市では、所沢が子どもたちにとって「自らの原点であり、住み続けたいホームタウン」となるよう取り組んでいきます。

地域の子ども会行事にて